

NITS 動画教材「校内研修シリーズ」演習シート

【No192：平和、人権、国際理解、協力、基本的自由、グローバル・シチズンシップ及び持続可能な開発のための教育に関する勧告（2023 年ユネスコ教育勧告）】

(1)

約半世紀ぶりに改定される形で「2023 年ユネスコ教育勧告」は成立しました。その背景には何があるでしょう。

(2)

「14 の原則」や「12 の学習目標」のなかで自分たちの学校で大切にしたい項目は何か 1 ～ 2 つ選び、なぜ重要であると思うのかについて話し合ってください。

(3)

「2023 年ユネスコ教育勧告」に対する理解をより深めるためのワークショップをカード型教材を用いて開くことができます。以下の手順に従ってグループで対話をしてみて下さい。教材は次の URL から閲覧でき、印刷して使用することもできます。

<https://kyosei.u-sacred-heart.ac.jp/unesco2023/cards/>

1. 4 人～6 人くらいで輪になって座りましょう。まずカード全部をみてみましょう。

2. 気になった「キーワード」や「エッセンス」があるカードを何枚か選びます。

※コーディネーターが時間内で扱えるカードの枚数を決めます。グループ同士でカードが重ならないようにしたい場合や時間の制約がある場合には、コーディネーターがカードを指定するやり方もあります。

3. 対話（ダイアログ）をするカードの順番を決めて、グループ内の 1 人が「キーワード」と「エッセンス」をゆっくり声に出して読みます。

※具体的な「問い」から対話（ダイアログ）を始めたい場合には、③を省略するやり方もあります。

4. 選んだカードに書かれている 3 つの「問い」から 1 つを選び、読み上げます。

※身近な問い、一般的な問い、行動に関する問いが順に並んでいます。最初の問いから順に始めることをお勧めします。

5. 「問い」に関して、思いつく答えや新たな疑問や意見を出してみましょう。（1 問につき、5 分～10 分をめど）

6. 別の「問い」についても同様におこないます。

※より多くのカードを体験してみたい場合は、1枚のカードの3つの問いから1つ～2つの問いのみを選ぶやり方もあります。

7. ひととおり終えて時間があれば、「キーワード」や「エッセンス」の意義や課題について自由に話しましょう。

8. 別のカードについても上記の③～⑦を繰り返します。

9. 最後にグループで出た意見を他のグループの人たちに発表しましょう。その後、全体で対話（ダイアログ）を続けることもできます。

※上記を参考に、人数、時間、参加メンバーに合わせた方法でご活用ください。

※上記の順とは逆に、より具体的な「問い」から始めて、「キーワード」や「エッセンス」について話し合うというやり方もあります。